【R6.6.1】 体育大会 校長挨拶「体育大会の開催に当たって」

四中生はもちろん、保護者をはじめとする来場者の皆様も含めまして、おはようございます。今週は天候に不安がある中ではありましたが、昨日までの雨も止み、こうしてここ八王子富士森競技場にて第78回八王子市立第四中学校体育大会が開催できることうれしく思います。

ここにいる四中生はもちろん、教職員にとっても全てが初めての環境での体育大会となります。本当にこれまでの準備と練習、よく頑張ったなと思っています。ケガや熱中症等に気を付けながら、これまでの準備と練習の成果を大いに発揮することを期待しています。もしも、この体育大会に向けた準備に勝ち負けがあるとすれば、私は間違いなく「勝った」と判定したいと思います。

さて、今回の体育大会の開会に当たりまして、これまでの四中の準備について少し触れておきます。手前味噌かもしれませんが、初めての会場での体育大会の企画・運営に向けて、教職員は繰り返しこの競技場に赴き、校内において検討を重ね今日を迎えています。あわせて、市教育委員会スポーツ施設管理課、並びに競技場のスタッフの皆様には、準備に当たりまして本校のわがまを聞いてくださり、配慮していただきました。また、PTAをはじめとする保護者の皆様には、当日の受付から見回り、警備等、小学生参加種目、そして生徒の水筒の補充用の飲み物の提供をいただきました。さらに、先週24日の予行のための前日準備・当日の片付けに当たっては、テント張り等のため、市教育委員会学校施設課のべ20名の職員の方々のお手伝いを賜りました。小中一貫教育グループ校である第二小学校からも、本校教職員に対するご配慮を賜りました。これら全てについて学校運営委員会、青少対第四地区委員会をはじめとする地域の皆様には、ご理解を賜りました。関係者全ての方々のご理解とご協力に、この場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。

改めて四中生の皆さん、体育大会はスポーツイベントですので、勝敗が付きます。「あなたの生涯に渡るスポーツライフの充実」が大きな目的ですので、正々堂々と競技に臨み、勝者、活躍した者を讃えることを学ぶことが大切です。練習の成果を発揮し、勝利したときに喜び合うことはスポーツの醍醐味です。ただし、もう一つ大切なことがあります。それは、敗者、失敗した者、この場に出場できなかった者への配慮です。ぜひ、終了後でよいので「どんな思いでいるのだろうか？」という想像力も働かせてみてください。

勝負の世界では、勝者は一者です。勝負事というものは、常に、負けたり、失敗したりした者の数の方が圧倒的に多いのです。だから体育大会を通して「勝負を超えた学び」にたどり着いてほしいと考えています。「勝負を超えた学び」とは？他者との比較ではなく、他でもない自分、昨年、1か月前、先週、昨日の自分にチャレンジするということです。体育大会終了後に、部分的にでも「自分にチャレンジできた。」と言えるように取り組んでみてください。きっとその時に自分を支えるのが「準備」や「練習」なんだろうと思います。

さあ、始まってしまえばきっとあっという間です。改めまして来場の皆様、四中生は出場する競技、応援、係としての役割などに全力で取り組みます。ぜひ、全力で応援をお願いします。